

「夢の列車」絵画を表彰

緑が丘93点から優秀作選ぶ

ネパールの首都カトマンズと三木、小野、姫路市の子どもや障害者たちが神戸電鉄の絵

を描いた「夢列車・播磨とカトマンズを結ぶ

国際交流絵画展」の表彰式が17日、三木市緑が丘町中3の緑が丘町公民館であった。受賞者や家族ら約50人が参

加。神鉄粟生線活性化キャラクターの「しんちゃん」も祝福に駆け付けた。

絵画展は同国の支援を続けるNPO法人「ラリグラス」（三木市志染町窟屋）が企画。93点の応募があり、10月から神鉄車内や同公民館で展示していた。

同法人と関わりのあるデザイナーや元美術教師らが審査し、入賞14点を決めた。

最優秀の市教育長賞には姫路市の寺脇健さん(23)が選ばれた。自閉症の寺脇さんは、スピード感を表現しようと、電車の車体がぶれているようにクレヨン

で描いた。自信作で受賞した寺脇さんは笑顔で表彰状を受け取っていた。(後藤亮平)



神戸電鉄粟生線活性化キャラクターの「しんちゃん」と一緒に記念撮影する受賞者＝緑が丘町公民館